



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2935回例会 2021.6.17 No.1595



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 我等の生業

会長談話 藤澤洋二会長

今日は長男と二人で、オーボエとイングリッシュホルンの二重奏をお聞かせしたいと考えて、助っ人に長男の正洋を連れてきました。正洋は30才で、数年前に伊那に戻り、伊那バスと関連会社4社の常務を務めており、今は主にIB自動車工業に勤務しております。どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。

オーボエは中学・高校・大学・社会人と続けて、今まで、中断もありましたが、気がつけば50年少しになりました。中学に入学してブラバンでオーボエを始めました。当時、上伊那の中学校ではそれまでオーボエを吹いた人がおらず、私が上伊那の中学生でオーボエを担当した最初の生徒になりました。中学校を卒業する時に、クラス担任でかつブラバンの顧問の先生に、後輩に楽器を残していくように言われ、伊那中学校に私のオーボエを寄付しました。10年ほど前に、伊那中にお聞きしたところ、まだ、私の残したオーボエが学校にあり、懐かしく思いました。

子供は男の子ばかり3人おりますが、3人とも中学からブラバンに入り、大学ではオーケストラを楽しみました。

ロータリークラブで、一回は皆さんに私のオーボエを聞いていただきたいと思っていましたので、今日は長男に助けてもらって、二重奏をします。曲は、いずみたく作曲の「見あげてごらん、夜の星を」です。それではよろしくお願い致します。



幹事報告 別紙をご覧ください。

出席報告 会員数54名 内出席免除15名
 出席者32名 事前メーキャップ1名 出席率77.27%

ニコニコボックス

藤澤洋二 一度は皆さんに私のオーボエをお聴かせしたいと思い、長男正洋を助っ人に演奏します。
 藤澤秀敬 会長と息子二人の演奏を初めて聴きました。一年間お世話様でした。

唐木 章 伊那商工会議所の会長に就任しました。

唐木一平 コロナワクチン二度目を打ちました。

今日から大手を振って、さあロータリーです。

都築 透 久しぶりに出席させていただきます。

三澤 聡 本日卓話をさせていただきます。

唐木 拓 8月8日に、自転車のヒルクライムレースを開催します。地域のために成功させたいと思います。

在籍祝 下枝正一 前澤明欣

会員卓話 三澤 聡会員 演題「私の履歴書」

私は1973年、昭和48年に辰野町で生まれました。第1次オイルショックの年でございます。小学生の時は陸上、水泳、スケートといった競技において学校内1、2を争うくらいのポテンシャルを備えており、学校代表に選出されまして、町内大会に出場しておりましたが、これは能力を備えていたという錯覚であることは後々知ることになります。

中学時代はサッカーに没頭し、部活動は辛かったですが本当に楽しかったです。

チームメイトとその目標を共有できていたために結果を出すことができたのだろうと、今、振り返ってみると思います。これからも心掛けていきたいことの一つです。

高校は、伊那に出て参りました。3年間、勉強はあまりやりませんでした。部活動にも没頭できていなかったようにも思いますが、凄く有意義な時期であり大切な友人ができたと思っていますし、今でもお世話になっている人がたくさんいます。

高校を卒業して、憧れの東京に出たわけですが、予



備校入学です。僕の人生の回り道と親のすねかじりの始まりです。

1年間、監禁されたような生活の末、大学に行くわけです。

大学は八王子の山中にある大学です。大学に行くと同時に、1人暮らしが始まります。わずかなお金を増やすことを考えるようになりました。ギャンブルです。パチンコ屋でアルバイトをしていたのですが、お給料をいただいたらその足で、他のパチンコ店に行き永久貯金をするという生活です。サッカーも少々やりながら、パチンコ、麻雀、週末競馬、たまに学校。数年間、そんな生活をしておりました。しばらくすると周りの連中が就職活動を始めましたが、僕はのんきなものです。

父親が自営業をしていたため、なんとなくですがその後を継げばいいのかなと単純に考えました。

本音はまだ東京にいたいということなのですが、建前として資格取得に向けてアルバイトをしながら勉強をする、というものです。そんな心持ちで試験に受かるわけもなく、箸にも棒にも掛からぬとはまさにこの状態です。そんな生活を数年し20代も半ばを過ぎた頃でした。今までにないような焦りを感じるのです。

その頃は、アルバイトをしながら、確か週に1~2回専門学校に通っていました。当然にそこで顔見知りができるわけですが、1年毎に顔ぶれが変わっていくのです。まあ、ずっと変わらない人もいましたが。合格して来なくなる人が出てくるのです。

他の同世代の人たちは、高校時代、遅くとも大学時代には自信の将来をイメージして準備をしていたのでしょう。それが僕は20代後半になって、やっと危機感をおぼえ、遅ればせながら心にスイッチが入ったのです。もうこの道しか無いと考え猛勉強をしまして、知識を吸収し受験のテクニックを必死に習得しました。

試験の前に数回行われる模試でも上位に入るようになり、真面目に取り組んでの初めての本試験。不合格。この時はショックでした。たまに帰省しても、父親との間には陰悪な空気が漂っておりました。翌年、丁寧な勉強方法に切り替え全国模試でも1位を取り、満を持して挑んだ試験の結果、合格。

その後、帰省しまして、地元企業に就職をしました。かなり遅めの社会人デビューです。その後しばらくして、今現在、生業としています土地家屋調査士として仕事をするようになりました。そこで壁が立ちはだかります。これについては誰もが同じような経験をしていると思いますが、知識だけがあっても全く仕事ができないというこ

とです。当然のことながら知識を備えているのは当たり前のこととして、プラスαの知恵、経験を身につけることが大事であることに気が付くのです。

数年間、勤めた後に、独立、といいましても父親の事務所で働き始めました。民主党に政権が代わったところのことです。

仕事については、父親の受けた仕事をお手伝いする日々が続きました。ただ、サラリーマン時代にお世話になった社長さんや営業の方がたまに仕事を投げてくれました。そういった時は精一杯、丁寧に、素早く、正確にこなすことに注力しました。当たり前のことを当たり前にする。これは今でも心掛けていることとして、今後も続けていくべきことだろうと考えております。

平成25年に株式会社アースプロットを立ち上げました。家族経営の小さい会社で、業界では末端です。『人として企業として正しく、速く、誠実に』をモットーとして若輩の経営者なりに地道にコツコツと取り組んできました。今は1人ですがスタッフを雇い入れることができまして、少しずつですが、成長できているのかなと感じております。

仕事以外では青年会議所や商工会議所青年部に入り、いろんな経験をさせていただきました。この会場に来るたびに思い出すことがあります。数年前にここで講演会を企画しまして、大勢の人たちを集め開催に漕ぎ着けたことです。ほんの少しでも、この地域が良くなればいいなと願って企画した思い出深い事業です。それはともかく、様々な経験、多くの出会いの代償として夫婦喧嘩は絶え間なく繰り返されました。

ただ、ここまでやってこれているのは、間違いなく妻の影響が大きいです。妻は群馬県出身ですが、群馬県を表す言葉として「かかあ天下とからっ風」という言葉があります。一般的には妻の方が夫よりも権力を持つ、みたいな意味なのでしょう。これが群馬県では意味合いが違うみたいでして、単純に言うと家でも外でもよく働く、という意味みたいです。自分の妻については、肝が据わっていて、粘り強くすぐ頼りになる存在です。彼女でなければ今の自分ようにはなっていないかもしれませんし、会社も作っていなかったと思います。

残念ながら我が家には子供がいませんが、妻とは24時間365日、常に同じ空間にいまして、充実した日々を過ごしています。

今となっては初対面でプロポーズをした自分の直感は凄いな、と自分を褒めつつ終わります。こんな私ですが、これからもよろしくお願い致します。